

2022年
7月22日

S-RED 通信

第2号

Society Region Emergence Department

S-RED のミッションは、『繋がる・拡がる連携』

S-RED は、研究領域を横断する異分野融合を推進する産学官金地域連携拠点であり、新しい価値を創造する「場」、市民、自治体・企業・他大学との融合の「輪」を構築していく組織です。

「社会イノベーション」をめざし、世界、日本、北海道、地域の課題に対して、みなさんと共に「繋がる・拡がる連携」をミッションに活動を推進してまいります。

社会・地域創発本部

略称：**S-RED (エスレッド)**

英語名：**Society
Region
Emergence
Department**

5月の活動報告

げんき発見ドック in 岩見沢市 (5/13 -14)

いつまでもおいしく食事ができ、元気に、楽しく、健康に暮らすまちをつくりたい。岩見沢市と北大COIが協力した、全国で初の取り組みとなる「げんき発見ドック」は、スタートから3年目を迎えました。同ドックは通常の「人間ドック」とは異なり、ポジティブな健康維持・増進と、フレイル予防・改善に向けたプログラムが特徴。体組成や血圧、食習慣、口腔内の状態などの測定を通じて、健康状態や元気の度合を「自分で確認する」ことがねらいです。

2016年に全国の自治体で初めてとなる「健康経営都市宣言」の認定を受けた岩見沢市は、オーラルフレイル対策にも力をいれています。口腔機能が衰えた状態であるオーラルフレイルは、新規のサルコペニア発症や要介護認定、総死亡リスクに関連していることがわかっています。口腔内の筋肉と、表情筋の筋力を強化するため、九州大学が民間企業と連携して開発した、口にはめる専用の器具「クチトレ」を使用し、オーラルフレイルの予防・改善をめざしています。

次回のドックは、8月26日と9月2日に分けて開催されます。



オーラルフレイルチェック



体組成チェック



クチトレの練習

フレイルとは、老年症候群の1つである虚弱(Frailty)のことで、加齢に伴う予備能力の低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態のことを指します。

6 月前半の活動報告

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）地域共創分野（本格型） サイトビジット（6/15）

2022 年度「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」サイトビジットが、北大 FMI 国際拠点において開催され、中川 PO（プログラムオフィサー）、西村副 PO をはじめ、文部科学省、JST の方々に来訪いただきました。

本サイトビジットでは、吉野 PL が拠点全体の概要と進捗状況の報告を行い、副 PL、PL 補佐、および各研究課題のリーダーが、それぞれの研究課題の概要と進捗について説明し、それらに対し活発な質疑応答が行われました。北大 COI-NEXT では、今回頂いたご意見を踏まえ、参画機関の皆様とともにさらなる共創、研究開発、社会実装を推進してまいります。



今後のイベント（予定）

8月	2日	慶應大学地域多世代連携フォーラム（吉野 PL 登壇）（鎌倉市）
	23日	第3回参画機関会議
	26日	げんき発見ドック in 岩見沢
9月	1日	幹事機関会議
	2日	げんき発見ドック in 岩見沢
	26日	emmy fes 0.8 in 岩見沢
	27 or 30日	emmy fes 0.8 in 東京
10月	25日	第4回参画機関会議
11月	5日	emmy fes 0.9 in 岩見沢



VOICE!



黄瀬信之

COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」プロジェクトリーダー補佐
北海道大学産学・地域協働推進機構 客員教授
岩見沢市 情報政策部長
総務省地域情報化アドバイザー

皆さん、あらためまして！最近、内閣官房や農林水産省など色々な機関からお声かけをいただくなど、自分の本業が時々何だかわからなくなってきましたが、一応？地方自治体岩見沢市職員、所謂「公僕」として、COI の初期段階から地域の未来が楽しく幸せになることを目指し、ジャンルにこだわることなく欲張りながら奮闘しています。

「他者（ひと）とともに自分らしく幸せに 生きる社会」という COI-NEXT のプロジェクトが掲げるビジョン達成には、自分のような世代を含め、市民が「学ぶことのできる環境づくり」が重要と感じています。その意味でも、プロジェクトに参画される方々との協働がとても大切であり、楽しく、時に厳しくご指導いただきながら一緒に磨いていきたいと思っております。見放さずに宜しくお願いいたします。